

人の使い方の上手下手で、桑つみの成績が上がったり、下がったりしますからね。皆んな気持ちよく働かせたいなら、ということをお話したい。桑つみというのを子供心に判ったような気がしますが、だから私は、学校を出て会社へ入って、一緒に働いている連中が、暑いとか寒いとか、仕事が多いとか骨がおれるとかいうグチをしばしば耳にしました。桑つみで鍛われた健康と仕事のほねおりに耐えてきているから、どうしてそんなに言うのか、私自身にはピンと来ないことがありました。このことが、七十四歳三ヶ月のいまでも人より丈夫であることの大きな要因だと思えますね。

○ お母様の教育も厳しかったんですね。

☆ お袋は気性の勝った、負けず嫌いでね、小学校一年の終業のとき「おかあさん、きよう三番だった」と言ったら「三番、三番でそぎゃん喜こんどんならでけん……。」と言われてギヤフンですよ。本当にね、「男は威(い)の下がることをしては絶対いけない。」とよく言われましたね。「面目を傷つけられることをするな。」これは私の本当に終生忘れられない言葉ですよ。私は命をかけて戦う積りですが、母の教えというのは大事ですね。

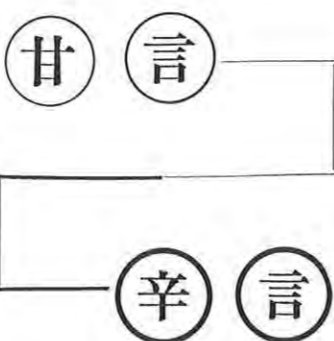
機械化するほど人間の値打ちは大切

○ お話を伺っておりますと、桑つみによる人の使い方とか家庭環境とかそのよるな下地があつての今日の東京ガスのご出世でしょうか。

☆ これはね、私の性分が誰とでも同じ気持ちで付き合うというか、身分の上下とか、地位のとかそんなことは考えたこともないし、考えたくもないし、エレベーターガールでも運転手でも皆同じように付き合いたと思つてますよ。仕事を命令するときは別ですよ。

それ以外是对等—対等ですよ。ね。私が大正十年に会社に入つてあしかけ三年目に関東大震災で東京が焼けたとき、私の勤務した営業所の所長宅も焼けたもので、私は所長代行として、かぞえの二十六で二百何十人を使いましたからね。ということ、私が何でも知つていたわけでもない。皆と仲良くやれたから。本田さんが言うからというよりは、言わず語らずのうちに私に対する信頼感で私が言うとおりに皆が働いてくれたからですよ。笛吹けどおどらずじゃ意味がない。結局現場は打てば響かなくてはならない。だから今の会社のいろんなやり方なんかも気になりますよ。いくら世の中が機械化し、能率化しても根本の問題は人間関係—ヒューマンリレーションが巧く行かなければならない。機械化して人が少なくなればなるほど人間の値打ちは大切なわけですよ。

例えば、現業の連中と並んで小使して



「世界に冠たる阿蘇が、熊本からなくなつたら一体どうなるか」となるか考えたことがありませんか」とのつけからおっしゃる中島さんを過日、阿蘇町坊中の登山道支関口にある環境庁阿蘇国立公園管理事務所を訪ねた。

事務所は山小屋風の目立たないたたずまい、昭和二十八年職員一人で築足した庁舎に今では所長室を増して総勢五人の役所。

失礼ながら総面積七三、〇六〇ヘクタールの阿蘇国立公園を管理できるのか心配になるような様子。

中島良吾
環境庁阿蘇国立公園
管理事務所長
長野県出身 41歳
住所 阿蘇郡阿蘇町坊中



「世界に冠たる阿蘇」がなくなることはあるまいが、中島さんの話を聞いてみると、

「いままでは観光開発とか観光とかいうものが、案外国立公園と同一にされがちであつたと思います。国立公園と観光とは本来非常に無縁のものです。どう違うかと申しますと、日本の観光というのはつまるるところ旅行の目的に過ぎないわけですね。国立公園というのは、つまり日本列島の中で自然の美しい処が残された場所として、自然と人間との結びつきを確保しようというものなんです。

いる。「やあ、大変だなあ」と肩をたたきますね。こつちの思いがね、本当に大変だという思いがあれば、肩一つたたかれることによつてチャンと相手に通じますよ。これが一番大切だと思つてますよ。政策的にどうか、ボリシーでね人心取らんとかいうことは、それは大部隊のときには必要でしょう。しかし、一番根本の問題は、真心というか、誠というか、これが和に連がる—和に通じるものです。人生は和なりですね。

熊本はもつと観光を

○ 最後になりましたが、只今熊本はいろんな工場進出もあり、日立造船も来ました。

☆ あ、永田君とこね。

○ 知事の政策として農村に公害のない男子雇用型の工場を導入して所得を上げようという政策を取ろうとしています。この点いかがですか。

☆ 農村に工場をどういうふうに取り入れるかというのは、具体的な考えは今のところ持ち合わせはございません。それ皆なで考え、また県の人達と密接に話し合う機会をこしらえてね。そうすれば、そういう道も自から開けるのではないですか。それより私はね、熊本はもつと観光を考えるべきではないでしょうかね。

すよ。更に言えば、植物もきれいでなくちやならんし、地形も普通われわれが生活している場所と違つた非常に印象的な場所だなきゃならん。もちろんその他には「静けさ」ですとか、人間の気持ちに精神的なもの、視覚的なもの、それから皮膚から感じる接触といったようなものがすべて含まれるところではなくてはならない。ところが企業にムチャクチャに買占められる阿蘇国立公園を見ていると、もうこの辺でハッキリと観光と国立公園の姿というものは別のものであるという認識を持つて欲しいと思つてます。あらゆることに、もう時間を節約して機械を導入しようという行き方の観光開発はね、もうね……。せいぜい持ち込めるのは自然遊歩道くらいですよ。今のところ自然のよさが残つているのは、もう国立公園と言われる自然公園しかないわけですよ。ですからそういう場所にまで企業の手が伸るということは非常に危険なことではないかと。

開発のビジョンとして、例えば地域住民の生活のためになるとか、県の経済面にプラスになるとかいろいろなものがある。考え方が大手資本の開発計画の中に入つていくわけですが、一歩立ち入つて考えてみれば、八世界に冠たる阿蘇が熊本からなくなつたら一体どうなるか。おそろく阿蘇というものは多かれ少なかれ熊本県人をはじめ、一度でも熊本に住んだ人達にとつて何か精神的な誇りと

新年度県の広報・公聴のご案内

▲ 広報誌
「暮らしと県政・熊本」 年六回発行

▲ 新聞広報
「熊本日日新聞紙面」
毎月第4月曜日

▲ 朝日、毎日、読売、西日本各新聞紙面
各紙年十六回

▲ テレビ番組
「県民のひろば」(土曜日)
RKK 午後二時—二時二十分

▲ 県民サロン(日曜日)
TKU 午後四時三十分—四時五十分

▲ ラジオ番組
「おはようあなたの県庁です」
(日曜を除く毎日)
RKK 午前七時四十分—七時四十五分

▲ ラジオ告知板(水曜を除く毎日)
NHK 午後六時五十分—七時

▲ 公聴関係
「陳情の受付」 直接でもお手紙でも
「県政モニター」
「一般公聴」 県下二百二十人にお願ひ
「施設公聴」 県民の意向を調査します
「世論調査」 県民の意向を調査します
「知事対話」 機会をつくりお話をします

精神的な要素があるんだらうと思つてますよ。ここで阿蘇がなくなつたら、そういう精神が崩れていくみたいな気がいたしますので、熊本県人は、もうこれだけは残しておこうという気がまえにならんといいかんのじゃなからうかと思つてますよ。そういう意味で私達は、ある程度地域の経済・生活に不便を与えたりとかもしくはマイナス面を与えたりとかということが判つても、将来の希望を残す意味で阿蘇だけは企業などの侵食を受けないように頑張りたいと考えています。

まさにわれわれは危機に直面しているわけだが、果して熊本県人にはこういう問題に対応するバイタリティがあるのかどうか、「その点、熊本県人は特に自然保護とか公害問題に関しても、その対応の仕方というものはとてもすばやいものがある。新しい問題への取り組み方の早さというものはおそろく他の県にはないものでしょう。」

熱し易くさめ易いとも言われますよと水を向けると「そういう人の方が進取の気性にとみ、人間的で、案外今の時代に適した熊本の県民性というやつじゃないかなあという気がしますがね。さめたというのには、捨て去つていいものという風に見や、永続するものかという問題でなくって、新しいものへ新しいものへと熱を燃すというの、非常に性格的には良い部類に入るんじゃないでしょうか。」との新解釈をいただいた。